

RG-KM

STIHL



2 - 15 取扱説明書



目次

1	ごあいさつ.....	2
2	はじめに.....	2
3	概要.....	2
4	安全に関する重要事項.....	3
5	コンビツールの使用準備.....	6
6	コンビツールの組み立て.....	6
7	コンビツールの点検.....	7
8	コンビツールの使用.....	7
9	作業後.....	7
10	運搬.....	8
11	保管.....	8
12	清掃.....	8
13	整備.....	8
14	修理.....	9
15	技術仕様.....	9
16	使用が承認されているコンビエンジン.....	10
17	スペアパーツおよびアクセサリ.....	11
18	廃棄.....	11
19	EC 適合証明書.....	11
20	UKCA 適合宣言.....	11
21	アドレス.....	12
22	パワーツールの安全上の一般的警告事項.....	12

1 ごあいさつ

お客様各位

STIHL 製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。弊社では、お客様のご要望を満たす高品質の製品を開発し、製造しております。弊社の製品は、極端な条件下においても高い信頼性が発揮されるよう設計されております。

STIHL 社は上質なサービスでも定評があります。弊社販売店は、お客様にご満足いただける助言や商品説明だけでなく、広範なサービスサポートも提供しております。

STIHL 社は天然資源を持続可能かつ責任ある方法で利用することに尽力しており、この方針を明示しています。本取扱説明書は、製品の長きに渡る耐用年数において、お客様が STIHL 製品を安全かつ環境に優しい方法で使用するのに役立つよう考えられています。

弊社をご愛顧いただきまして有難うございます。今後とも STIHL 製品をご愛用いただきますようお願い申し上げます。



Dr. Nikolas Stihl

重要！初めて使用する前に取扱説明書をお読みください。取扱説明書は、必要なときに参照できるように安全な場所に保管してください。

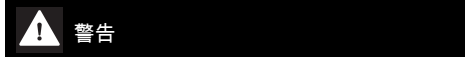
2 はじめに

2.1 適用文書

現地の安全規制が適用されます。

- ▶ 本取扱説明書の他に以下の文書をお読みいただき、理解し、保存/保管してください：
 - 使用する STIHL コンビツールの取扱説明書

2.2 本書内の警告表示




- 重傷または死亡の原因となるおそれのある危険を示しています。
 - ▶ 記載されている対策を講じると、重傷または死亡事故を防ぐことができます。



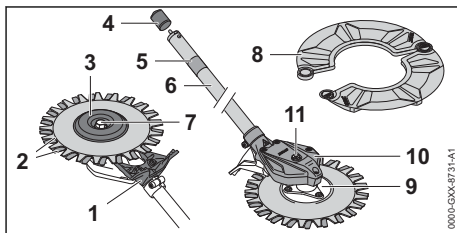
- 物的損害の原因となるおそれのある危険を示しています。
 - ▶ 記載されている対策を講じると、物損事故を防ぐことができます。

2.3 本文中の記号

 この記号は、本取扱説明書の章を示します。

3 概要

3.1 コンビツール



- 1 マシンサポート**
コンビツールを地面に置くための台。
- 2 ブレード**
雑草や芝草を刈払いします。
- 3 ライダープレート**
ブレード取り付け部を覆う。
- 4 プロテクトキャップ**
ドライブチューブ端部用カバー。
- 5 マーク**
コンビツールをコンビエンジンに挿入する際の深さを示す印。
- 6 ドライブチューブ**
コンビツールをコンビエンジンに接続。

7 スクリュー

ライダークラケットをコンビツールに固定。

8 運搬用ガード

ユーザーをブレードとの接触から保護。

9 ブレード取り付け部

ブレードを固定。

10 ギアボックスを収める。

11 スクリュープラグ

STIHL ギアグリース注入口の栓。

3.2 記号

コンビツールに表示されている記号の意味：



この記号は、STIHL ギアグリース注入口の位置を示しています。



ドライブチューブをコンビツールのカップリングスリーブにあるマークの位置まで押し込みます。

4 安全に関する重要事項

4.1 警告記号

コンビツールの警告標示の意味：



安全上の注意事項を順守し、必要な予防措置を講じてください。



取扱説明書をよくお読みいただき、ご理解ください。取扱説明書は必ず保管してください。



保護メガネとイヤープロテクターを着用してください。



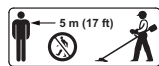
安全靴を着用してください。



保護手袋を着用してください。



作動中のブレードに触れないでください。



安全な距離を維持してください。



高温の面に触れないでください。

4.2 用途

STIHL RG-KM コンビツールは STIHL コンビエンジンと共に使用するよう設計されており、雑草や芝草の刈払い用です。

▲ 警告

- コンビツールを設計された目的以外に使用すると、重傷または致命傷や物的損害につながるおそれがあります。
 - ▶ コンビツールは、本取扱説明書に従って使用してください。
 - ▶ コンビエンジンは、STIHL コンビエンジンに付属する取扱説明書に従って使用してください。

4.3 作業者

▲ 警告

- 指導を受けていない使用者は、コンビツールの使用に伴う危険を認識/認知できません。使用者または他の人員が重傷または致命傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 取扱説明書をよくお読みいただき、ご理解ください。また取扱説明書は必ず保管してください。



- ▶ コンビツールを譲渡する場合：必ず取扱説明書を一緒に手渡してください。
- ▶ 使用者が以下の必要条件を満たしているか確認してください：
 - 十分な休息をとっている。
 - コンビツールを使用するために適切な身体的および精神的状態にある。使用者の身体的、感覚的、または精神的機能が制限されている場合、その使用者は責任者の監督の下で、または責任者による指導どおりにのみ作業することができます。
 - コンビツールの使用に伴う危険を認識し、評価することができる。
 - 法定年齢に達しているか、国の規則や規制に従い、監督下で職業訓練を受けた。
 - 初めてコンビツールを使用する前に、STIHL サービス店またはその他の経験豊富な使用者から指導を受けている。
 - アルコールまたは薬物の影響を受けていない。
- ▶ ご不明点があれば：STIHL サービス店にサポートを依頼してください。

4.4 衣服と装備

▲ 警告

- 作業中は、物体が高速で飛散することがあります。それにより負傷するおそれがあります。



- ▶ 確実にフィットする保護メガネを着用してください。欧州基準 EN 166 または日本の基準に従って試験され、ラベルが付けられている適切な保護メガネが販売されています。

▶ 丈夫な素材の長ズボンを着用してください。

- 操作中は騒音が発生します。騒音は聴力障害の原因になるおそれがあります。



- ▶ イヤープロテクターを着用してください。

- 作業中は、粉塵が巻き上げられることがあります。巻き上げられた粉塵は気道を傷付け、アレルギー反応を引き起こすおそれがあります。

▶ 粉塵が巻き上げられたり、周囲を漂ったりしている場合は、防塵マスクを着用してください。

- 不適切な衣服は木や茂みまたはコンビツールにからまる可能性があります。適切な衣服を着用しないと、重傷を負うおそれがあります。

▶ 体にぴったりフィットする衣服を着用してください。

▶ スカーフや装身具は外してください。

- 作業中、ブレードに接触することがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。



- ▶ つま先に鋼板の入った安全靴を着用してください。

▶ 丈夫な素材の長ズボンを着用してください。

- 清掃中または整備中にブレードに接触するおそれがあります。それにより負傷するおそれがあります。



- ▶ 耐切創手袋を着用してください。

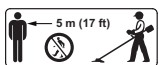
- 不適切な履物を履くと、滑るおそれがあります。それにより負傷するおそれがあります。

▶ 靴底が滑らず、頑強な作りの、足が露出しない靴を着用してください。

4.5 作業エリアおよび周辺環境

▲ 警告

- 見物人、子供、動物は、コンビツールまたは飛散物の危険を認識していません。見物人、子供、動物は重傷を負ったり、物的損害につながるおそれがあります。



- ▶ 見物人、子供、動物は作業エリアから 5 m の範囲内に入らせないでください。

▶ 器物から 3 m の間隔を維持してください。

- ▶ コンビツールを無人のまま放置しないでください。
- ▶ 子供がコンビツールで遊ぶことができないよう配慮してください。

4.6 安全に関する条件

4.6.1 コンビツール

コンビツールは、以下の条件が満たされている場合、安全な状態です：

- コンビツールが損傷していない。
- コンビツールが清潔な状態にある。
- コンビツールが適切に装着されている。
- 本コンビツールモデル用に設計された STIHL 純正アクセサリーだけが取り付けられている。
- アクセサリーが適切に取り付けられている。

▲ 警告

- 安全な状態にない場合、部品が正常に作動しなくなるか、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。重傷または致命傷を負うおそれがあります。

▶ コンビツールは必ず損傷のない状態で使用してください。

▶ コンビツールが汚れた場合：コンビツールを清掃します。

▶ コンビツールは改造しないでください。

▶ 本コンビツールモデル用に設計された STIHL 純正アクセサリーを取り付けてください。

▶ 本取扱説明書に従ってブレードを取り付けてください。

▶ アクセサリーは、本取扱説明書またはアクセサリーに付属する取扱説明書に従って装着してください。

▶ 摩耗するか、損傷したラベルは交換してください。

▶ ご不明な点は、STIHL サービス店へお問い合わせください。

4.6.2 ブレード

ブレードは、以下の条件が満たされている場合、安全な状態です：

- ブレードと取り付け用部品が損傷していない。
- ブレードが変形していない。
- ブレードが適切に取り付けられている。
- ブレードにバリがない。

▲ 警告

- 安全な状態にないと、ブレードの部品が外れ、高速で飛散するおそれがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。

▶ ブレードまたは取り付け用部品が損傷した状態では、絶対に作業を行わないでください。

▶ ブレードは適切に目立てしてください。

- ▶ 刃先のバリはヤスリで取り除いてください。
- ▶ ご不明な点があれば：STIHL サービス店にサポートを依頼してください。

4.7 操作

▲ 警告

- 特定の条件下では、使用者は作業に集中できなくなる場合があります。それにより転倒事故や落下事故が生じたり、重傷を負ったりするおそれがあります。
 - ▶ 冷静かつ慎重に作業を行ってください。
 - ▶ 明るさと視界が不十分な場合：コンビツールを使用しないでください。
 - ▶ コンビツールは一人で操作してください。
 - ▶ コンビツールは地面に近い位置で使用してください。
 - ▶ 障害物に注意してください。
 - ▶ 機械の操作中は地面に立ち、バランスを保ってください。
 - ▶ 疲れを感じたら：休憩をとってください。
- 作動するブレードでケガをすることがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。



- ▶ 作動中のブレードには触れないでください。
- ▶ ブレードが挟まったときは：コンビエンジンのスイッチを切ります。挟まった障害物を取り除きます。

- 操作中にコンビツールの動作が変化するか、異常を感じたときは、機器がもはや安全な状態にない可能性があります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。
 - ▶ 作業を中止し、STIHL サービス店にサポートを依頼してください。
- 作業中、コンビツールは振動することがあります。



- ▶ 手袋を着用してください。

- ▶ 定期的に休憩をとってください。
- ▶ 血行不良の兆候が見られたときは：医師の診察を受けてください。
- 回転するブレードが硬い物体に接触すると、火花が発生することがあります。引火しやすい場所では、火花によって火災が生じるおそれがあります。それにより重傷または致命傷や物的損害につながるおそれがあります。
 - ▶ 引火しやすい場所では、作業を行わないでください。
- 切断性能が低下しているか、ブレードが頻繁に挟まる場合は、物体が飛散する危険性が高まります。それにより負傷するおそれがあります。

- ▶ 取扱説明書の説明に従ってブレードを目立させてください。
- コンビエンジンのスロットルを放しても、ブレードはしばらく作動し続ける点に注意してください。それにより重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ ブレードが完全に停止するまで待ちます。

▲ 危険

- 通電中の電線の近くで作業を行うと、ブレードを誤ってケーブルに接触させ、損傷させてしまうことがあります。その結果、重傷または致命傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 通電中の電線の付近では作業を行わないでください。
 - ▶ 埋設されているケーブルにも注意してください。

4.8 運搬

▲ 警告

- ギアハウジングは作業中に高温になることがあります。火傷を負う危険性があります。
 - ▶ 高温のギアハウジングには触れないでください。



- コンビツールは運搬中に倒れたり、ずれたりするおそれがあります。その結果、負傷したり、物的損害につながったりするおそれがあります。
 - ▶ 運搬用ガードを取り付けます。
 - ▶ 転倒したり、ずれたりしないよう、固定ストラップまたはネットでコンビツールを固定します。

4.9 保管

▲ 警告

- 子供はコンビツールの危険の認識や評価ができず、重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 運搬用ガードを取り付けます。
 - ▶ コンビツールは子供の手の届かないところに保管してください。
- コンビツールの金属部品は、湿気や水分で腐食することがあります。コンビツールが損傷するおそれがあります。
 - ▶ コンビツールは、清潔な乾いた状態で保管してください。

4.10 清掃、整備、修理

▲ 警告

- ギアハウジングは作業中に高温になることがあります。火傷を負う危険性があります。



▶ 高温のギアハウジングには触れないでください。






- 強力な洗剤、高圧洗浄機、または尖った物体を使用して清掃すると、コンビツールが損傷するおそれがあります。コンビツールを適切な方法で清掃しないと、部品が正常に作動しなくなるか、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。それにより重傷を負うことがあります。
 - ▶ コンビツールは、本取扱説明書に従って清掃してください。
- コンビツールを適切な方法で整備または修理しないと、部品が正常に作動しなくなるか、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。重傷または致命傷を負うおそれがあります。
 - ▶ コンビツールは自身で修理しないでください。
 - ▶ コンビツールに修理が必要なときは：STIHL サービス店にサポートを依頼してください。
 - ▶ コンビツールは本取扱説明書に従って整備してください。
- ブレードの清掃または整備中に、鋭利な刃先でケガをする場合があります。それにより負傷するおそれがあります。
 - ▶ 耐切創手袋を着用してください。



5 コンビツールの使用準備

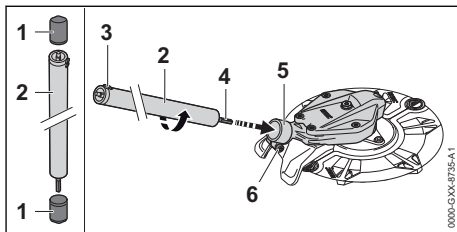
5.1 コンビツールの使用準備

作業開始前に次の作業を行ってください：

- ▶ 以下の部品が安全な状態になっているか確認してください：
 - コンビツール、 4.6.1。
 - コンビエンジン、取扱説明書を参照。
- ▶ コンビツールを清掃します、 12.1。
- ▶ ドライブチューブをギアボックスに接続します、 6.1。
- ▶ コンビツールをコンビエンジンに取り付けます、 6.2.1。
- ▶ ループハンドル付きコンビエンジン使用時：コンビエンジンの取扱説明書に従ってバリアバーを取り付けてください。
- ▶ キャリングシステムを使用してください、 8.1。
- ▶ 上記の作業を行うことができない場合は：コンビツールを使用しないでください。STIHL サービス店にサポートを依頼してください。

6 コンビツールの組み立て

6.1 ドライブチューブをギアボックスに接続する

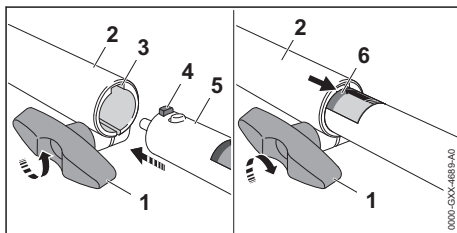


- ▶ ドライブチューブ (2) の両端からプロテクトキャップ (1) を外します。
- ▶ スクリュー (6) を緩めます。
- ▶ ドライブチューブ (2) をギアハウジング (5) に押し込み、回転させてギアシャフト (4) をかみ合わせます。
- ▶ スクリュー (6) をゆるく締めます。
- ▶ 突起 (3) が上を向くようにドライブチューブ (2) を位置決めします。
- ▶ スクリュー (6) をしっかりと締め付けます。

ドライブチューブを再び取り外す必要はありません。

6.2 コンビツールの取り付けと取り外し

6.2.1 コンビツールの取り付け



- ▶ ウイングスクリュー (1) を緩めます。
- ▶ 突起 (4) とスロット (3) を合わせます。
- ▶ ドライブチューブ (5) をカップリングスリーブ (2) に止まるまで押し込みます。赤線 (6) がカップリングスリーブ (2) と面一になる位置まで差し込んでください。
- ▶ ウイングスクリュー (1) をしっかりと締め付けます。

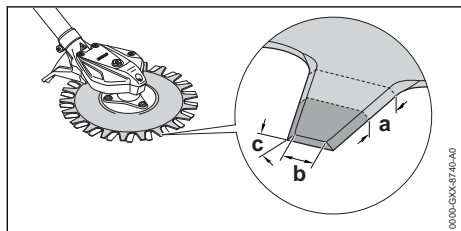
6.2.2 コンビツールの取り外し

- ▶ 運搬用ガードを取り付けます。
- ▶ コンビツールのウイングスクリューを緩めます。
- ▶ ドライブチューブをコンビツールから引き抜きます。

7 コンビツールの点検

7.1 ブレードの点検

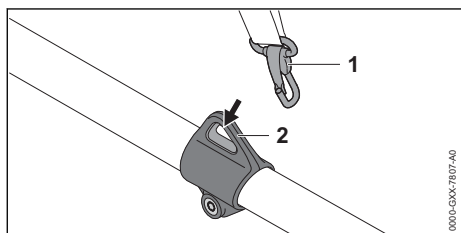
- ▶ コンビエンジンのスイッチを切ります。



- ▶ ブレードの以下の寸法を測定します：
 - 長さ a
 - 幅 b
 - 角度 c
- ▶ 測定値を比較します、 15.2。
- ▶ 最低長が規定値に満たない場合：ブレードをずらします、 13.4。
- ▶ 最低幅が規定値に満たない場合：ブレードを交換してください、 13.3。
- ▶ 目立て角度が不適切な場合：ブレードを目立てしてください 13.5。
- ▶ ご不明な点があれば：STIHL サービス店にサポートを依頼してください。

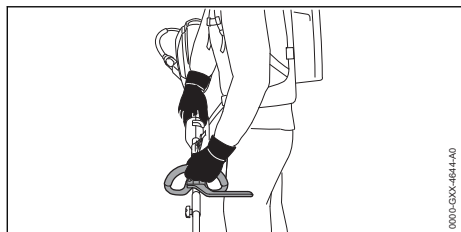
8 コンビツールの使用

8.1 コンビツールの保持とコントロール



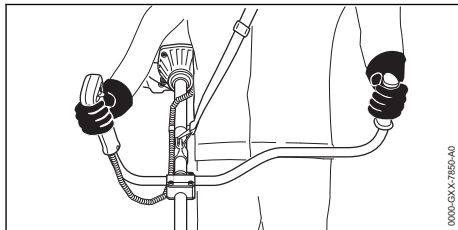
- ▶ コンビエンジンの吊り下げ用リング (2) をキャリングシステムのカラビナ (1) に接続します。

ループハンドル付きコンビエンジン



- ▶ 右手でコントロールハンドルを握り、コンビエンジンを保持します - コントロールハンドルに親指をかけてください。
- ▶ 左手でループハンドルを握り、コンビエンジンを保持します - ループハンドルに親指をかけてください。

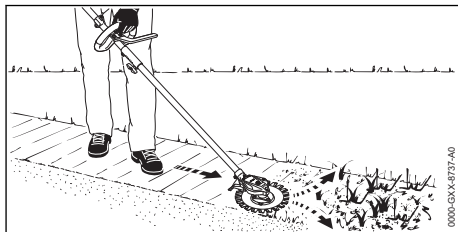
バイクハンドル付きコンビエンジン



- ▶ 右手でコントロールハンドルを握り、コンビエンジンを保持します - コントロールハンドルに親指をかけてください。
- ▶ 左手でハンドルを握り、コンビエンジンを保持します - ハンドルに親指をかけてください。

8.2 雑草と芝草の刈払い

刈払い高さは、地面からブレードまでの距離によって決まります。



- ▶ コンビツールを前後に弧を描くように動かします。
- ▶ 一定のペースでゆっくりと前進します。

9 作業後

9.1 作業後

- ▶ コンビエンジンのスイッチを切ります。
- ▶ コンビツールが濡れている場合：コンビツールを乾かしてください。
- ▶ コンビツールを清掃します。
- ▶ 運搬用ガードを取り付けます。

10 運搬

10.1 コンビツールの運搬

- ▶ コンビエンジンを切ります。
- ▶ 運搬用ガードを取り付けます。

コンビツールの運搬

- ▶ 片手でドライブチューブを持ってコンビツールを運搬します。

コンビツールの車両輸送

- ▶ 倒れたり、ずれたりしないようコンビツールを固定してください。

11 保管

11.1 コンビツールの保管

- ▶ コンビエンジンのスイッチを切ります。
- ▶ 運搬用ガードを取り付けます。
- ▶ コンビツールは以下の条件が満たされるように保管してください：
 - コンビツールが倒れたり動いたりしないようにすること。
 - コンビツールが子供の手の届かないところにあること。
 - コンビツールが清潔かつ乾燥した状態にあること。

12 清掃

12.1 コンビツールの清掃

- ▶ コンビエンジンのスイッチを切ります。
- ▶ ギアハウジングを冷まします。
- ▶ コンビツールを湿らせた布で拭き、清掃します。

12.2 ブレードの清掃

- ▶ コンビエンジンのスイッチを切ります。
- ▶ ブレードに STIHL 樹脂溶剤を吹き付けます。
- ▶ コンビエンジンを 5 秒間作動させます。
ブレードが作動します。STIHL 樹脂溶剤が均等に行き渡ります。

13 整備

13.1 整備間隔

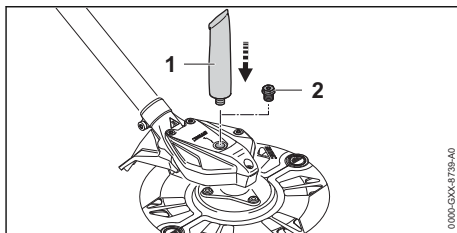
整備間隔は、環境と作業条件によって異なります。STIHL 社では次の間隔による整備をお勧めしています：

25 運転時間毎

- ▶ ギアボックスに注油します。

13.2 ギアボックスの潤滑

- ▶ コンビエンジンのスイッチを切ります。



- ▶ スクリュープラグ (2) を取り外します。
- ▶ スクリュープラグ (2) の端にグリスが見えない場合：
 - ▶ STIHL ギアグリスのチューブ (1) を注入口に差し込みます。
 - ▶ 10 g の STIHL ギアグリスをギアハウジングに注入します。
 - ▶ STIHL ギアグリスのチューブ (1) を注入口から外します。
 - ▶ スクリュープラグ (2) を取り付け、しっかりと締め付けます。
 - ▶ コンビエンジンを 1 分間作動させます。
STIHL ギアグリスが均等に行き渡ります。

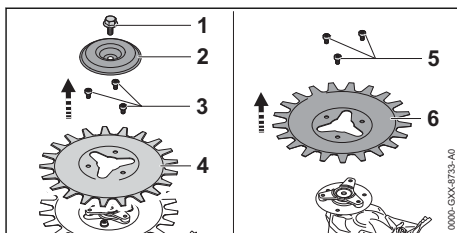
13.3 ブレードの取り外しと取り付け

13.3.1 ブレードの取り外し



警告

- ブレードの刃先は非常に鋭利です。切傷を負う危険性があります。
 - ▶ 丈夫な素材の手袋を着用してください。
- ▶ コンビエンジンのスイッチを切ります。

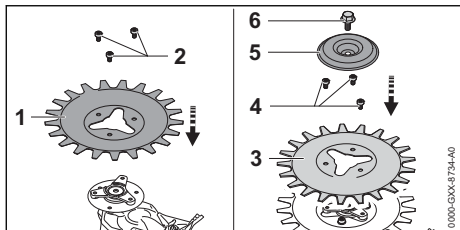


- ▶ スクリュー (1) を時計回りにまわし、取り外します。
- ▶ ライダープレート (2) を取り外します。
- ▶ スクリュー (3) を反時計回りにまわし、取り外します。
- ▶ ブレード (4) を取り外します。
- ▶ スクリュー (5) を反時計回りにまわし、取り外します。
- ▶ ブレード (6) を取り外します。

13.3.2 ブレードの取り付け

警告

- ブレードの刃先は非常に鋭利です。切傷を負う危険性があります。
 - ▶ 丈夫な素材の手袋を着用してください。
- ▶ コンビエンジンのスイッチを切ります。

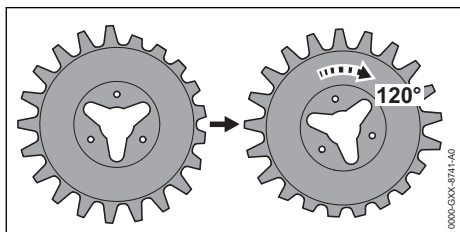


- ▶ ブレード (1) を取り付けます。
- ▶ スクリュー (2) を挿入し、時計回りにまわしてしっかりと締め付けます。
- ▶ ブレード (3) を取り付けます。
- ▶ スクリュー (4) を挿入し、時計回りにまわしてしっかりと締め付けます。
- ▶ ライダープレート (5) を取り付けます。
- ▶ スクリュー (6) を取り付け、反時計回りに確実に締め付けます。

13.4 ブレードのオフセット

警告

- ブレードの刃先は非常に鋭利です。切傷を負う危険性があります。
 - ▶ 丈夫な素材の手袋を着用してください。
- ▶ コンビエンジンのスイッチを切ります。
- ▶ ブレードを取り外します。

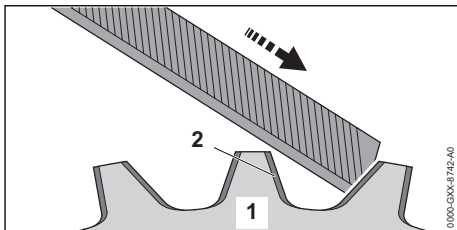


- ▶ ブレードを 120° ずらします。
- ▶ ブレードをすでに 2 回ずらした場合は、ブレードを交換してください。
- ▶ ご不明な点があれば、STIHL サービス店にサポートを依頼してください。

13.5 ブレードの目立て

警告

- ブレードの刃先は非常に鋭利です。切傷を負う危険性があります。
 - ▶ 丈夫な素材の手袋を着用してください。
- ▶ コンビエンジンのスイッチを切ります。
- ▶ ブレードを取り外します。



- ▶ STIHL クロスカット平ヤスリを使用し、刃先 (2) を目立てします。ヤスリは前方に押しただきだけ研磨します。規定の目立て角度を維持してください、 \square 15.2。
- ▶ 残りの刃先を目立てします。
- ▶ ブレードを取り付けます。
- ▶ ご不明な点があれば、STIHL サービス店にサポートを依頼してください。

14 修理

14.1 コンビツールの修理

- ユーザーがコンビツールを修理することはできません。
- ▶ コンビツールが損傷した場合：コンビツールを使用しないでください。STIHL サービス店に連絡してください。

15 技術仕様

15.1 STIHL RG-KM コンビツール

- 重量 (ブレードを含む) : 2.5 kg

15.2 ブレード

- 厚さ : 1.25 mm
- 最低幅 (刃) : 5 mm
- 最低長 (刃) : 10 mm
- 目立て角度 : 45°

15.3 騒音値および振動値

音圧レベルの特性値は 2 dB(A) です。音響パワーレベルの特性値は 2 dB(A) です。振動値の特性値は 2 m/s² です。

RG-KM と KM 94 R

- ISO 22868 に準拠して反響する床面上で測定した音圧レベル L_{peq} : 93 dB(A)

- ISO 22868 に準拠して反響する床面上で測定した音響パワーレベル L_{weq} : 107 dB(A)
- ISO 22867 に準拠して測定した振動値 $a_{\text{hv,eq}}$
 - コントロールハンドル : 6.1 m/s²
 - ループハンドル : 5.9 m/s²

RG-KM と KM 111 R

- ISO 22868 に準拠して反響する床面上で測定した音圧レベル L_{peq} : 96 dB(A)
- ISO 22868 に準拠して反響する床面上で測定した音響パワーレベル L_{weq} : 108 dB(A)
- ISO 22867 に準拠して測定した振動値 $a_{\text{hv,eq}}$
 - コントロールハンドル : 5.4 m/s²
 - ループハンドル : 5.8 m/s²

RG-KM と KM 131

- ISO 22868 に準拠して反響する床面上で測定した音圧レベル L_{peq} : 98 dB(A)
- ISO 22868 に準拠して反響する床面上で測定した音響パワーレベル L_{weq} : 109 dB(A)
- ISO 22867 に準拠して測定した振動値 $a_{\text{hv,eq}}$
 - コントロールハンドル : 4.5 m/s²
 - 左ハンドル : 5.0 m/s²

RG-KM と KM 131 R

- ISO 22868 に準拠して反響する床面上で測定した音圧レベル L_{peq} : 98 dB(A)
- ISO 22868 に準拠して反響する床面上で測定した音響パワーレベル L_{weq} : 109 dB(A)
- ISO 22867 に準拠して測定した振動値 $a_{\text{hv,eq}}$
 - コントロールハンドル : 5.6 m/s²
 - ループハンドル : 6.1 m/s²

RG-KM と KMA 130 R

- ISO 22868 に準拠して反響する床面上で測定した音圧レベル L_{peq} : 84 dB(A)
- ISO 22868 に準拠して反響する床面上で測定した音響パワーレベル L_{weq} : 94 dB(A)
- ISO 22867 に準拠して測定した振動値 $a_{\text{hv,eq}}$
 - コントロールハンドル : 4.1 m/s²
 - ループハンドル : 4.4 m/s²

RG-KM と KMA 135 R

- ISO 22868 に準拠して反響する床面上で測定した音圧レベル L_{peq} : 80.5 dB(A)
- ISO 22868 に準拠して反響する床面上で測定した音響パワーレベル L_{weq} : 92.8 dB(A)
- ISO 22867 に準拠して測定した振動値 $a_{\text{hv,eq}}$
 - コントロールハンドル : 3.7 m/s²
 - ループハンドル : 4.3 m/s²

RG-KM と KMA 80.0 R

- ISO 22868 に準拠して反響する床面上で測定した音圧レベル L_{peq} : 81 dB(A)
- ISO 22868 に準拠して反響する床面上で測定した音響パワーレベル L_{weq} : 94 dB(A)

- ISO 22867 に準拠して測定した振動値 $a_{\text{hv,eq}}$
 - コントロールハンドル : 3.2 m/s²
 - ループハンドル : 4.7 m/s²

RG-KM と KMA 120.0 R

- ISO 22868 に準拠して反響する床面上で測定した音圧レベル L_{peq} : 81 dB(A)
- ISO 22868 に準拠して反響する床面上で測定した音響パワーレベル L_{weq} : 94 dB(A)
- ISO 22867 に準拠して測定した振動値 $a_{\text{hv,eq}}$
 - コントロールハンドル : 3.1 m/s²
 - ループハンドル : 4.6 m/s²

RG-KM と KMA 200.0 R

- ISO 22868 に準拠して反響する床面上で測定した音圧レベル L_{peq} : 81 dB(A)
- ISO 22868 に準拠して反響する床面上で測定した音響パワーレベル L_{weq} : 94 dB(A)
- ISO 22867 に準拠して測定した振動値 $a_{\text{hv,eq}}$
 - コントロールハンドル : 4.3 m/s²
 - ループハンドル : 6.7 m/s²

振動に関する指令 2002/44/EC の遵守に関する情報は、www.stihl.com/vib に記載されています。

15.4 REACH

REACH は EC の規定で、化学物質 (Chemical substances) の登録 (Registration)、評価 (Evaluation)、認可 (Authorisation) 規制を意味します。

REACH 規定の遵守に関する詳細については、www.stihl.com/reach をご覧ください。

16 使用が承認されているコンビエンジン

16.1 STIHL RG-KM

コンビツールは次のコンビエンジンに取り付けることができます。

- STIHL KM 94 R
- STIHL KM 111 R
- STIHL KM 131
- STIHL KM 131 R
- STIHL KMA 130 R
- STIHL KMA 135 R
- STIHL KMA 80.0 R
- STIHL KMA 120.0 R
- STIHL KMA 200.0 R

17 スペアパーツおよびアクセサリ

17.1 スペアパーツおよびアクセサリ

STIHL これらの記号は、STIHL 純正のスペアパーツと STIHL 純正のアクセサリに付けられています。

STIHL 社では、STIHL 純正の交換部品とアクセサリの使用をお勧めしています。

STIHL 社は市場に出回っている商品を継続的に調査しておりますが、他社製スペアパーツとアクセサリの信頼性、安全性、適性を判断することはできません。そのため、STIHL 社はそうした部品の使用を許可しておりません。

STIHL 純正の交換部品と STIHL 純正のアクセサリは、STIHL サービス店から入手することができます。

18 廃棄

18.1 コンビツールの廃棄

廃棄に関する情報については、現地の行政当局または STIHL サービス店にお問い合わせください。

不適切に廃棄すると、健康被害や環境被害につながる可能性があります。

- ▶ STIHL 製品は梱包材も含めて、現地の規則に従って適切な資源回収ステーションに出してください。
- ▶ 家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。

19 EC 適合証明書

19.1 コンビツール STIHL RG-KM

ANDREAS STIHL AG & Co. KG
Badstraße 115
D-71336 Waiblingen

Germany (ドイツ)

は、単独の責任において

- 型式: コンビツール 除草機
- 機械カテゴリー: グラストリマー、クリアリングソー
- 製造ブランド: STIHL
- タイプ: RG-KM
- シリアル番号: 4180

指令 2006/42/EC の関連する条項に適合しており、製造の時点で有効であった次の規格のバージョンに準拠して開発および製造されたことを保証いたします:

EN ISO 12100 (指定された KM モデルと併用)。

EN ISO 12100、EN 60335-1、EN 50636-2-91 (KMA 130 R と併用)。

EN ISO 12100、EN 62841-1 (IEC 62841-4-4 を考慮)、EN 60335-1、EN 50636-2-91 (KMA 80.0 R、KMA 120.0 R、KMA 135 R、KMA 200.0 R と併用)。

技術資料は ANDREAS STIHL AG & Co. KG の製品認証部に保管されています。

製造年は、コンビツールに表示されています。

2023 年 12 月 1 日、Waiblingen にて発行

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理人 

Robert Olma, Vice President, Regulatory Affairs & Global Governmental Relations

20 UKCA 適合宣言

20.1 コンビツール STIHL RG-KM

**UK
CA**

ANDREAS STIHL AG & Co. KG
Badstraße 115
D-71336 Waiblingen

Germany (ドイツ)

は、単独の責任において

- 型式: コンビツール 除草機
- 機械カテゴリー: グラストリマー、クリアリングソー
- 製造ブランド: STIHL
- タイプ: RG-KM
- シリアル番号: 4180

英国指令 Supply of Machinery (Safety) Regulations 2008 の関連する条項に適合しており、製造の時点で有効であった次の規格のバージョンに準拠して開発および製造されたことを保証いたします:

EN ISO 12100 (指定された KM モデルと併用)。

EN ISO 12100、EN 60335-1、EN 50636-2-91 (KMA 130 R と併用)。

EN ISO 12100、EN 62841-1 (IEC 62841-4-4 を考慮)、EN 60335-1、EN 50636-2-91 (KMA 80.0 R、KMA 120.0 R、KMA 135 R、KMA 200.0 R と併用)。

技術資料は ANDREAS STIHL AG & Co. KG に保管されています。

製造年は、コンピツールに表示されています。

2023年12月1日、Waiblingenにて発行

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理人 

Robert Olma, Vice President, Regulatory Affairs
& Global Governmental Relations

21 アドレス

www.stihl.com

22 パワーツールの安全上の一般的な警告事項

22.1 はじめに

この章は、手持型モーター駆動電動工具の欧州標準 IEC 62841 に規定されている、策定済みの一般的な安全上の注意事項を複製したものです。

STIHL 社にはこうした注意事項を発行する義務があります。

「電気的な安全」に記載されている、感電を防ぐための安全上の注意事項と警告は、STIHL バッテリーツールには適用されません。

警告

- この電動パワーツールに付属する安全上の注意事項、取扱説明書、図、技術仕様にはすべて目を通してください。安全に関する警告事項や指示に従わないと、感電、火災、重傷の原因になることがあります。後日参照するために、警告と指示が記載された書類をすべて保管してください。

警告中の「電動パワーツール」という語は、主電源により駆動される (コード接続) パワーツールまたはバッテリーにより駆動される (コードレス) パワーツールを指します。

22.2 作業エリアの安全

- 作業エリアは清潔な状態で維持し、常に十分な明るさを確保してください。雑然としているか、明るさが十分でない作業エリアは、事故を招きます。
- 可燃性の液体、ガス、または粉塵が存在する、爆発が起きやすい環境下では、電動パワーツールを使用しないでください。電動パワーツールは火花を発生し、粉塵やガスが引火することがあります。

- 電動パワーツールの使用時は、子供や第三者を近付けないでください。気が散って、電動パワーツールを制御できなくなることがあります。

22.3 電気的な安全

- 電動パワーツールの電源プラグは、コンセントと適合している必要があります。電源プラグにはいかなる改造も行わないでください。接地された電動パワーツールにはアダプタープラグを使用しないでください。改造されていないプラグを適合するコンセントに使用すると、感電の危険が低減されます。
- パイプ、ヒーター、オープン、冷蔵庫等の接地された面に身体の一部を接触させないでください。身体が接地されると、感電が生じる危険が増します。
- 電動パワーツールは、雨や水分にさらさないでください。電動パワーツールに水が入ると、感電の危険が増します。
- 接続ケーブルを他の目的に使用しないでください。絶対に電源ケーブルを持って電動パワーツールを運搬したり、引っ張ったりしないでください。同様に、絶対に電源ケーブルを引いてプラグを外さないでください。電源ケーブルは高温、油分、鋭利な端部、可動部品に近付けないでください。電源ケーブルが損傷するか、絡まると、感電の危険が増します。
- 電動パワーツールを屋外で使用するときは、屋外用の延長ケーブルを使用してください。屋外用の延長ケーブルを使用すると、感電の危険が低くなります。
- やむを得ず電動パワーツールを湿った場所で使用しなければならない場合は、残留電流装置 (RCD) で保護された電源を使用してください。RCDを使用すると、感電の危険が低くなります。

22.4 作業者の安全

- 電動パワーツールを操作するときは、常に気を抜かず、作業に集中し、常識を働かせてください。疲れているときや、薬物、アルコール、または薬剤の影響下にあるときは、パワーツールを使用しないでください。電動パワーツールの操作中は、一瞬の不注意で重傷を負うおそれがあります。
- 作業者用保護装備を使用してください。必ず目のプロテクターを着用してください。使用する電動パワーツールと各作業に適した保護装備 (防塵マスク、耐滑安全靴、硬質ヘルメット、イヤープロテクター等) は、作業者が負傷する危険を低減します。

- c) 機械が偶発的に始動しないよう配慮してください。電動パワーツールのスイッチがオフになっているか確認してから主電源に接続したり、持ち上げたり、運搬したりしてください。オン/オフスイッチに指を載せるか、電動パワーツールのスイッチをオンにしたまま電動パワーツールを運搬すると、事故が起きるおそれがあります。
- d) 設定用の工具やレンチを取り外してから電動パワーツールの電源を入れてください。工具やスパナを電動パワーツールの回転部品に取り付けただままにしておくと、負傷事故が起きるおそれがあります。
- e) 不自然な姿勢は避けてください。常に適切な足場とバランスを維持してください。想定外の状況下で電動パワーツールを制御しやすくなります。
- f) 適切な衣服を着用してください。ゆったりとした衣服や装身具は身に付けしないでください。髪の毛や衣服を可動部品に近付けないでください。ゆったりした衣服、装身具、長髪は、可動部品に絡まるおそれがあります。
- g) 集塵機を設置できる場合は、適切に接続し、使用してください。集塵機を使用すると、粉塵に関連する危険を低減することができます。
- h) 電動パワーツールに完全に慣れていても、油断したり、安全規則を無視したりしないでください。不注意によって一瞬で重傷を負うおそれがあります。

22.5 電動パワーツールの使用と保守

- a) 電動パワーツールに無理な力を加えないでください。用途に適した電動パワーツールを使用してください。適切な電動パワーツールを使用すると、設計上の速度で、より効率的かつ安全に作業が遂行されます。
- b) スイッチが故障している場合は、電動パワーツールを使用しないでください。スイッチで電源を制御できない電動パワーツールは危険であり、修理する必要があります。
- c) 電源からプラグを抜くか、本体からバッテリーパックを取り外してから、パワーツールの調整、アクセサリーの交換、またはパワーツールの保管を行ってください。こうした安全予防措置を講じると、電動パワーツールが偶発的に始動する危険が低減されます。
- d) 使用していない電動パワーツールは、子供の手の届かない場所に保管してください。操作に慣れていないか、取扱説明書や助言書をお読みいただいていない作業中には、電動パワーツールを使用させないでください。電動パ

ワーツールは、訓練を受けていない作業者が使用すると危険です。

- e) 電動パワーツールとアクセサリーは、保守をしながら使用してください。可動部品のずれや固着、部品の損傷、電動パワーツールの機能に影響を及ぼすおそれがある他の不具合がないか点検してください。損傷している場合は、電動パワーツールを修理してから使用してください。事故の多くは、保守が不適切な電動パワーツールによって引き起こされています。
- f) カuttingアタッチメントは、常に目立てをした清潔な状態に保ってください。刃先を目立てし、慎重に保守したCuttingアタッチメントを使用すると、作動しなくなる可能性は低くなり、制御が容易になります。
- g) 電動パワーツール、アクセサリー、工具ビット等は、作業条件と実施する作業内容を考慮しながら、これらの指示に従って使用以外に使用しないでください。電動パワーツールを本来の用途以外に使用すると、危険な状況が生じるおそれがあります。
- h) ハンドルやグリップの表面は、オイルやグリースが付着していない、清潔で乾いた状態に保ってください。ハンドルやグリップの表面が滑りやすくと、電動パワーツールを適切に操作できなくなり、想定外の状況が生じたときに制御を失います。

22.6 バッテリーツールの使用と保守

- a) バッテリーを充電するときは、必ずメーカーが指定した充電器を使用してください。特定の種類のバッテリーパックに適した充電器を他のバッテリーパックに使用すると、火災の危険が生じることがあります。
- b) パワーツールは、必ず専用バッテリーパックと共に使用してください。他のバッテリーパックを使用すると、ケガおよび火災の危険が生じることがあります。
- c) バッテリーパックを使用していないときは、端子どうしを接続する可能性のあるペーパークリップ、硬貨、鍵、くぎ、ねじ等の小さな金属製の物体に近付けないでください。バッテリー端子を短絡させると、火傷や火災の原因になることがあります。
- d) 不適切な方法で使用すると、バッテリー液が漏れ出すことがあります。バッテリー液には触れないでください。誤って触れた場合は、水ですすいでください。バッテリー液が目に入ったときは、さらに医師の診断を受けてください。バッテリーから漏れ出した液は、炎症や火傷の原因になることがあります。

- e) 損傷したり、改造したりしたバッテリーパックやパワーツールは使用しないでください。損傷したバッテリーや改造したバッテリーは想定外の反応を示し、火災、爆発、負傷事故を引き起こすおそれがあります。
- f) バッテリーパックやパワーツールを火気や高温にさらさないでください。火気または130 °C (265 °F)以上の温度によって爆発が生じるおそれがあります。
- g) 充電に関する指示をすべて遵守し、バッテリーパックやパワーツールは、取扱説明書に記載されている温度範囲を超える環境下では充電しないでください。不適切な方法で充電するか、規定の温度範囲外で充電すると、バッテリーが損傷し、火災が生じる危険が増すことがあります。

22.7 修理点検

- a) パワーツールの修理は認可を受けた修理技術者に依頼し、同一交換部品のみを使用してください。これにより、パワーツールの安全性を維持することができます。
- b) 損傷したバッテリーは、絶対に修理しないでください。バッテリーパックの修理は、必ずメーカーまたは認定を受けたサービス店に依頼してください。

22.8 グラストリマー、クリアリングソー、鋸刃付きクリアリングソーの安全上のご注意

- a) 悪天候下、特に雷雨時は本機を使用しないでください。これにより、落雷に打たれるリスクを減らすことができます。
- b) 作業範囲に野生動物がいなければどうかしっかり点検してください。本機動作中に野生動物が怪我をするおそれがあります。
- c) 作業範囲をしっかりと点検し、石、棒、ワイヤー、骨、その他の異物などはすべて取り除いてください。飛散した部品で怪我をすることがあります。
- d) 本機を使用する前に、カッティングツールや鋸刃、カッティングユニットまたはソーユニットが損傷していないことを必ず確認してください。破損した部品は、怪我のリスクを高めます。
- e) 挿入ツールの交換に関する指示に従ってください。鋸刃のナットやネジの締め付けが悪いと、鋸刃が損傷したり緩んで取れてしまうことがあります。
- f) カッティングツールの定格回転数は、少なくとも本機に表示されている最大回転数と同じかそれ以上でなければなりません。定格回転

数を超えて回転するカッティングツールは、破損または飛散することがあります。

- g) 保護メガネ、頭部保護具、保護手袋を着用してください。適切な個人用保護具を使用することで、飛散する部品、ラインスプール、鋸刃との偶発的な接触による怪我を減らすことができます。
- h) 本機の動作中は、滑らない安全靴を必ず履いてください。裸足やサンダルでは絶対に作業しないでください。これにより、回転中のラインスプールや鋸刃に接触して足に怪我をするリスクを減らすことができます。
- i) 本機の動作中は、必ず安全靴を履いてください。裸足やサンダルでは絶対に作業しないでください。これにより、回転中のラインスプールや鋸刃に接触して足に怪我をするリスクを減らすことができます。
- j) 本機の動作中は、必ず長ズボンを着用してください。素肌が見えていると、飛散する物体で怪我をする可能性が高くなります。
- k) 本機の動作中は周囲に人を近づけないでください。飛散した部品で重傷を負う可能性があります。
- l) 本機の動作中は、必ず両手で操作してください。制御を失わないように、本機は必ず両手で操作してください。
- m) ラインスプールや鋸刃は、隠れた電線線や独自の電源ケーブルに接触することがあるため、本機を持つ際は、絶縁されたハンドル面以外には握らないでください。ラインスプールや鋸刃が通電中の電線と接触すると、本体の金属部分にも電圧が掛かり、感電に至る可能性があります。
- n) 足元がしっかりしていることを常に確認し、地面の上に立っている状態でのみ本機を使用してください。滑りやすい地面や不安定な足場で使用すると、バランスを崩したり本機の制御を失ったりする可能性があります。
- o) 急な斜面では本機を使用しないでください。これにより、制御を失い、滑って転倒し、怪我につながるリスクを減らすことができます。
- p) 斜面で作業をする場合は、足元がしっかりしていることを確認します。常に斜面に対して身体が横向きになるように立って作業を行い、絶対に上や下に向けて作業を行わないようにしてください。また、作業方向を変える際には細心の注意を払ってください。これにより、制御を失い、滑って転倒し、怪我につながるリスクを減らすことができます。
- q) 作業中は、身体の中のどの部分もラインスプールや鋸刃に近づけないでください。本機のスイ

ツチを入れる前に、ラインスプールや鋸刃が何にも接触していないことを確認してください。動作中の一瞬の油断が、ご自身や他の人の怪我につながる可能性があります。

- r) 腰の高さより高い位置で本機を操作しないでください。これにより、ラインスプールや鋸刃との偶発的な接触を回避し、不測の事態でも本機を制御しやすくなります。
- s) テンションがかかっている灌木や樹木を切断すると、その反動がかかることを予測して注意してください。木質繊維のテンションが弛緩すると、灌木や樹木が使用者に当たったり、機械の制御が効かなくなったりすることがあります。
- t) 茂みや若木を切断する際は特に注意してください。細い木材は鋸刃に絡まり、操作者に当たるか操作者がバランスを崩す可能性があります。
- u) 本機の制御を保ち、鋸刃やその他の危険な部分動いている間は触らないようにしてください。これにより、可動部品による怪我のリスクを減らすことができます。
- v) 本機を持ち運ぶ際には、電源を切り、身体とは逆の方向に向けてください。本機を適切に取り扱うことにより、回転する鋸刃と誤って接触する可能性を減らすことができます。
- w) 本機を運搬または保管する際は、必ず金属製の鋸刃にブレード鞘を装着してください。本機を適切に取り扱うことにより、鋸刃と誤って接触する可能性を減らすことができます。
- x) 交換用のラインスプール、カッティングヘッド、鋸刃は、メーカーが指定したもののみを使用してください。誤ったスペアパーツを使用すると、破損や怪我の危険性が高まります。
- y) 挟まった木材を除去したり本機のメンテナンスを行ったりする前に、スイッチがオフになっており、バッテリーが取り外されていることを確認してください。挟まった木材を取り除く際には、本機の予期せぬ動作により重大な怪我につながる可能性があります。

www.stihl.com



0458-811-4321-B



0458-811-4321-B